

## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <https://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	8,430	9.0	622	3.6	606	0.3	453	1.2
2023年9月期第2四半期	7,736	—	601	—	604	—	447	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 454百万円 (2.1%) 2023年9月期第2四半期 444百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	24.74	—
2023年9月期第2四半期	24.14	—

(注)2022年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	8,759	3,376	37.3	178.00
2023年9月期	9,102	3,053	32.7	162.36

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 3,268百万円 2023年9月期 2,973百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2024年9月期の配当予想については未定です。

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	12.9	1,300	23.5	1,287	24.0	850	61.9	46.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	19,228,800 株	2023年9月期	19,181,600 株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	869,025 株	2023年9月期	869,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	18,328,050 株	2023年9月期2Q	18,555,411 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2024年9月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍の収束とともに経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付いておらず、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠き、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等、景気動向は不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、リフォーム需要が底堅く推移する一方で国内の新設住宅着工戸数は減少傾向が続いており、資材価格や人件費の上昇を原因とする建築コストの増加など、引き続き厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループは当連結会計年度を成長加速期の最終年度として、積極的な投資を行い、長期ビジョン達成に向けた道筋を作ることを目指し、国内事業の収益基盤強化、海外事業の成長拡大、新事業の創造に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,430百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益622百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益606百万円（前年同期比0.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益453百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、各事業セグメントの売上高には、事業セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### ① 住設・建材EC事業

住設・建材EC事業におきましては、価格改定による購入単価の上昇と既存顧客のリピート購入増加等により前年同期比で増収増益となりました。商品カテゴリ別では、引き続き洗面カテゴリが順調に伸びており、中でも、洗面空間をすっきり見せるスリムミラーボックス《スミス》が発売開始から約2年で全商品の売上トップ3に入るなど順調に売上を伸ばしているほか、高級ホテルのようなラグジュアリーな空間を演出する洗面カウンター《フィオレット》や、昨年発売したハイバックタイプの深型洗面台《エルフォルム》も順調に売上を伸ばしております。社名変更を控えているためマス広告などの積極的な認知広告は実施しておりませんが、WEB広告及びキーワード検索による非指名検索などからECサイトへの流入を促しました。

以上の結果、売上高7,452百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益927百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

#### ② 住宅事業

住宅事業におきましては、子会社のベストブライト社においてエリアマーケティングが奏功し、高単価、高粗利の物件が販売できたことにより、前年同期比で増収増益となっております。一方、加盟工務店と一体となって自由設計でデザイン性の高い住宅設計を可能としていくサービス《ASOLIE》では、加盟工務店が当社の提供するデザインコードを利用して建築した「《ASOLIE》の家」の建築が進み、加盟工務店へ向けた住設・建材の売上も増加しております。

以上の結果、売上高984百万円（前年同期比62.3%増）、セグメント損失8百万円（前年同四半期はセグメント損失48百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ343百万円減少し、8,759百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加186百万円があった一方で、現金及び預金の減少358百万円、棚卸資産の減少163百万円があったことによるものであります。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ665百万円減少し、5,383百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の減少465百万円、未払法人税等の減少142百万円、長期借入金の減少47百万円があったことによるものであります。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、3,376百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加270百万円、新株予約権の増加27百万円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より326百万円減少し、2,000百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は484百万円（前年同期は77百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益604百万円、減価償却費77百万円を計上した一方で、法人税等の支払額244百万円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は70百万円（前年同期比70.5%減）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出50百万円、有形固定資産の取得による支出23百万円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は739百万円（前年同期は294百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入れによる収入200百万円を計上した一方で、短期借入金の返済による支出665百万円、配当金の支払額181百万円、長期借入金の返済による支出92百万円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,971	2,000,943
売掛金	966,337	1,153,241
棚卸資産	2,844,672	2,681,209
その他	207,966	310,809
貸倒引当金	△21,203	△28,703
流動資産合計	6,356,744	6,117,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	993,323	925,953
土地	93,309	65,328
建設仮勘定	26,380	34,982
その他（純額）	82,716	80,168
有形固定資産合計	1,195,730	1,106,431
無形固定資産		
その他	81,646	86,289
無形固定資産合計	81,646	86,289
投資その他の資産		
投資有価証券	300,877	351,946
関係会社株式	905	905
関係会社長期貸付金	133,000	—
長期前払費用	599,520	573,707
差入保証金	456,428	456,363
繰延税金資産	90,432	45,918
その他	20,359	20,367
貸倒引当金	△133,000	—
投資その他の資産合計	1,468,525	1,449,208
固定資産合計	2,745,902	2,641,930
資産合計	9,102,647	8,759,431

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,028,684	1,063,745
前受金	326,641	364,295
短期借入金	2,631,400	2,166,000
1年内返済予定の長期借入金	171,188	126,370
未払法人税等	274,102	132,064
契約負債	26,337	26,433
賞与引当金	151,724	113,763
その他	533,303	531,109
流動負債合計	5,143,382	4,523,782
固定負債		
長期借入金	545,116	497,770
資産除去債務	354,010	355,325
その他	6,410	6,300
固定負債合計	905,536	859,395
負債合計	6,048,919	5,383,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,481	817,281
資本剰余金	755,481	767,281
利益剰余金	1,770,499	2,040,787
自己株式	△374,494	△374,494
株主資本合計	2,956,967	3,250,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,248	17,186
その他の包括利益累計額合計	16,248	17,186
新株予約権	80,511	108,211
純資産合計	3,053,727	3,376,253
負債純資産合計	9,102,647	8,759,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,736,734	8,430,200
売上原価	4,988,053	5,465,171
売上総利益	2,748,681	2,965,028
販売費及び一般管理費	2,147,263	2,342,134
営業利益	601,417	622,894
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	6
投資事業組合運用益	10,953	—
その他	3,622	1,089
営業外収益合計	14,580	1,095
営業外費用		
支払利息	8,984	9,158
貸倒引当金繰入額	—	7,500
その他	2,508	1,310
営業外費用合計	11,492	17,968
経常利益	604,505	606,021
特別利益		
固定資産売却益	30	393
投資有価証券売却益	—	999
特別利益合計	30	1,393
特別損失		
固定資産除却損	0	286
関係会社清算損	—	2,480
特別損失合計	0	2,766
税金等調整前四半期純利益	604,535	604,647
法人税、住民税及び事業税	214,981	107,132
法人税等調整額	△58,323	44,101
法人税等合計	156,658	151,234
四半期純利益	447,876	453,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	447,876	453,413



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	447,876	453,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,926	937
その他の包括利益合計	△2,926	937
四半期包括利益	444,950	454,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	444,950	454,351
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	604,535	604,647
減価償却費	70,460	77,231
のれん償却額	22,162	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	7,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47,559	△37,960
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	5,493	—
受取利息及び受取配当金	△4	△6
支払利息	8,984	9,158
固定資産売却損益 (△は益)	△30	△393
固定資産除却損	0	286
株式報酬費用	57,997	60,709
関係会社清算損益 (△は益)	—	2,480
投資事業組合運用損益 (△は益)	△10,953	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△196,060	△183,491
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△332,450	163,463
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,883	34,980
前受金の増減額 (△は減少)	20,874	37,653
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△212	△26,599
その他	△69,600	△14,403
小計	179,519	735,255
利息及び配当金の受取額	4	6
利息の支払額	△12,078	△6,468
法人税等の支払額	△245,438	△244,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,993	484,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,424	—
定期預金の払戻による収入	—	32,024
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△35,101	△23,709
無形固定資産の取得による支出	△14,096	△14,723
資産除去債務の履行による支出	△55,803	—
短期貸付けによる支出	—	△15,000
差入保証金の差入による支出	△127,572	△221
投資事業組合からの分配による収入	25,493	282
その他	△1,693	711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,198	△70,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,200	200,000
短期借入金の返済による支出	△543,370	△665,400
長期借入金の返済による支出	△77,721	△92,164
配当金の支払額	△184,914	△181,784
その他	△90	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,104	△739,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23,086	△326,003
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,861	2,326,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,363,774	2,000,943

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	7,130,350	565,940	7,696,290	—	7,696,290
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	38,492	38,492	—	38,492
顧客との契約から生じる収益	7,130,350	604,432	7,734,783	—	7,734,783
その他の収益	—	1,951	1,951	—	1,951
外部顧客への売上高	7,130,350	606,384	7,736,734	—	7,736,734
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,493	—	3,493	△3,493	—
計	7,133,843	606,384	7,740,228	△3,493	7,736,734
セグメント利益又は損失 (△)	919,953	△48,077	871,875	△270,458	601,417

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△270,458千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	7,448,544	936,722	8,385,266	—	8,385,266
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	42,229	42,229	—	42,229
顧客との契約から生じる収益	7,448,544	978,951	8,427,495	—	8,427,495
その他の収益	—	2,704	2,704	—	2,704
外部顧客への売上高	7,448,544	981,656	8,430,200	—	8,430,200
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,877	2,603	6,480	△6,480	—
計	7,452,421	984,259	8,436,680	△6,480	8,430,200
セグメント利益又は損失（△）	927,915	△8,346	919,569	△296,675	622,894

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△296,675千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。